

ニュースレター

No.76

2014年 5月15日

目 次 ページ

総会のお知らせ	-----	1
総会議案書	-----	2
県内自然保護ニュース	-----	7
横浜上郷地区開発（瀬上沢開発問題）経過		
神奈川県自然保護協会からのお知らせ	-----	8
神奈川県自然保護協会 設立の頃 II		
久々に県外視察		

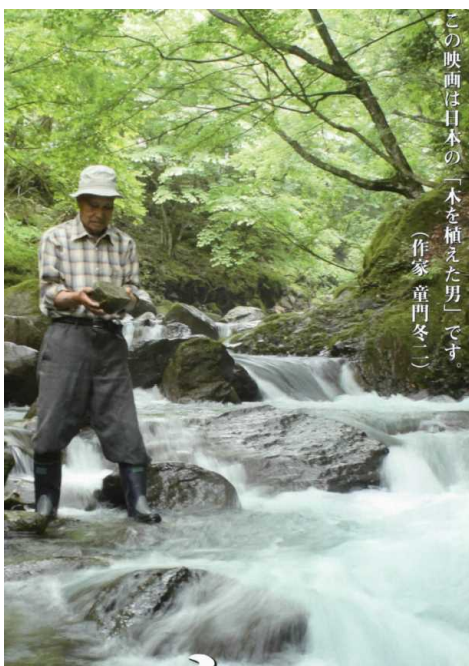
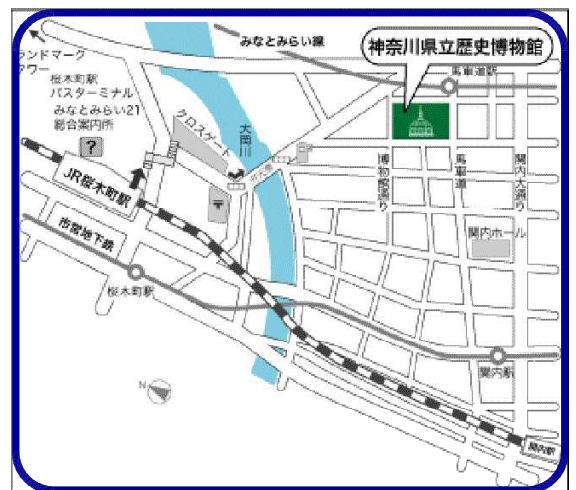
神奈川県自然保護協会 総会のお知らせ

- 1 日 時 2014年6月14日（土）13時30分より
- 2 会 場 神奈川県立歴史博物館 講堂
- 3 日 程
 - 13時30分より
 - 2014年度定期総会
 - 14時30分より
 - 映画 「流（ながれ）」上映
 - 16時 閉会予定

会場案内

（横浜市中区南仲通 5-60）

- みなとみらい線 「馬車道駅」から徒歩1分
- 出口[5]馬車道口からエスカレーターをご利用になると便利です。
- JR 「桜木町」駅、または、「関内」駅北口から徒歩8分
 - 市営地下鉄線 「関内駅」[9]番馬車道口から徒歩5分、「桜木町駅」から徒歩8分



この映画は日本の「木を植えた男」です
(作家 童門冬二)

映画「流（ながれ）」

神奈川県愛川町を流れる中津川

ここには河原に花をよみがえらせたおじいさんがいる
川虫と友だちになったおじいさんがいる

とどまることのない流れの中に、生命（いのち）のいとなみを見た10年間の記録

（評）

希少生物と向き合う見た目高齢者2名の主役が、愚痴も含め人間と自然の関係に欠かせない科学・経験哲学を随所で語り、水生昆虫の不思議な造形芸術も映した自然保護映画。

助ければ答える自然から生涯飽く事のない目標と次世代に繋ぐ使命を得たご両人に、私は自然との同調が人生を豊かにする見本を見た。

（医学博士／登山家 今井通子）



第1号議案 2013年度事業報告 決算報告 及び監査報告

2013年度事業報告

1 事業の成果

- ・ 情報紙の発行や、講演会の開催、観察会等の企画、自然調査活動を通して神奈川県自然環境の特質を理解し、よりよい保全の在り方を追求する活動を行った。

推進に当たっては、1012年度事業報告で指摘した課題、地域開発計画への対応や生物多様性保全の啓発を意識し、特に厚木市が行う「生物多様性あつぎ戦略」推進事業の委託を受け成果を上げた。

一方、課題として横浜市栄区の瀬上沢での開発計画や、渋沢丘陵の大規模墓地開発計画、川崎市から相模原市にかけてのリニア新幹線計画など、県内の自然の危機は未だに存在していることへの対応や、生物多様性保全の必要性について広く県民一般に対する啓発活動を一層進めることがあげられる。

活動は単独あるいは他団体との連携を通し話題性のある内容をめざし、活動の場をできるだけ県内各地に拡げ広報活動も充実させるなど県民への知名度を高め、より効果的なものとなるよう努力した。特に、野生動物植物保全フォーラムにおいては第1次産業である、農林漁業に焦点を当て行う事ができた。

事業に関して、厚木市の委託金、かながわトラストみどり基金からの助成を受け充実させることができた。

一方通常の経営基盤である会員からの会費収入は減少気味で今後課題を残している。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

- ・ 講演会 日時2013年6月15日14時30分から「私たちの水はどこから来ているか」水源環境保全・再生かながわ県民会議委員 井伊秀博氏

イ 公開勉強会開催事業

本年度未開催。

ウ 自然観察会

- ・ 地形・地質観察会 2014年2月27日 3月5日 2回計画 内3月5日は雨天中止
- ・ 自然観察指導員連絡会(グリーンタフ)との共同観察会 2回
 - 1 5月11日 城ヶ島(雨天中止)
 - 2 2014年3月29日 ニヶ領用水・東高根森林公園 参加者無くスタッフ研修会として実施。

エ 自然保護の現場見学会「湘南の海岸林」未実施

工 厚木市生物多様性地域戦略事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、野生動物植物保全フォーラム運営委員会を

中心にその実施を協働で行う。

- ・ 野生動物植物保全フォーラム

11月30日、12月1日

- ・ 厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアーを3回実施する。

「川のめぐみ」8月9日 「里のめぐみ」11月10日

「山のめぐみ」2014年2月16日 大雪中止

- ・ 厚木市立妻田小学校ビオトープづくり。

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」67号 未発行

イ 啓発紙発行事業 2

情報紙「ニュースレター」70号から74号まで5回ページ総計 本紙別冊併せて208ページ

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実努める。

エ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実を図り、アジェンダの日イベント他機会を捉えて掲出した。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア 野生動物植物保全フォーラム開催(再掲)

県内で野生動物植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。(厚木市との協働)

- ・ 日時2013年11月30日、12月1日

- ・ 会場 厚木市文化会館 小ホール、展示室

映画「流れ」上映

生物多様性保全の現場から実践報告

平塚市漁業組合 秦野市森林組合 神奈川県認定エコファーマー 厚木市立妻田小学校先生と児童

ポスター展示及びポスターセッション

イ 行事の後援

- ・ 鎌倉若宮大路のクリーングリーン運動

(鎌倉緑の会：5月25日開催)

- ・ 江ノ島モース祭

(モース研究会：5月25日開催)

- ・ 川名自然フォーラム主催行事

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

- ・ 神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト

県内の自然の状況について把握し評価する事業県民や団体からの応募事例の評価検討を行う。現在作業継続中。

- ・他 自然全般
- (5) 行政への働きかけ・協働
県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出。
 - ・神奈川県環境影響評価条例改定に関してパブリックコメント意見提出 2013.11.10
 - ・厚木市「(仮)健康こどもの森」計画
2013.9.3 事業計画について要望書提出
共同提出団体 あいかわ自然ネットワーク、あつぎ環境市民の会、厚木植物会、荻野自然観察会、神奈川昆虫談話会。
2013.11.11 同要望書に対する回答を受けて、再要望書提出
2014.2より 市担当課は今後の事業推進について有識者から意見を聞き協議するワーキンググループを設置することになり、要望団体はメンバーとして参画することになった。
 - ・渋沢丘陵霊園建設計画
2014.2.25 神奈川県森林審議会会長宛「秦野市に計画中の大規模霊園に関わる要望書」提出
2014.3.21 神奈川県知事宛同趣旨の要請書提出
 - ・リニア新幹線に関して
2014.3.20 中央新幹線(東京都・名古屋市間)に係る環境影響評価・準備書に対する知事意見につ

- いて(要請)提出
- (6) 2013年度・役員が協会代表として行政および他機関の役職についたもの。
(藤崎理事長)
 - ・NPO法人かながわアジェンダ推進センター副代表
 - ・小網代の森保全対策協議会委員
 - ・かながわ地球環境保全推進会議委員
(新堀前理事長)
 - ・丹沢大山自然再生委員会副委員長
 - ・神奈川県鳥獣総合対策協議会会長
(青砥副理事長)
 - ・神奈川県環境審議会委員
 - ・環境農政局主管公共事業評価委員会委員
 - ・水源環境保全再生かながわ県民会議委員
- 3 事務局体制
(運営組織)
活動の広がりに伴い作業量が多くなることに対応して、役員の役割分担を明確にするための組織体制の確立に努めた。
- 4 会議の開催
総会 6月14日 神奈川県立歴史博物館
理事会 7, 10, 1, 4の各月第2火曜日
運営委員会毎月 第2火曜日

2013年度決算報告

科 目	金 額 (円)			備 考
	予算	実績	増減(△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	740,000	606,000	△134,000	会費 内過年度分 40,000-
2 事業収入 自然観察会	60,000	145,586	85,586	
3 受託金・補助金	(0)	(0)	(0)	
ア 受託金	(945,000)	(945,000)	(107,500)	厚木市生物多様性戦略 トラストみどり財団 (妻田小緑化 ホットスポット)
イ 補助金	(475,000)	(582,500)		
4 寄付金	150,000	76,000	△74,000	
5 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
6 雑収入・源泉所得税預かり金	10,000	3,484	△6,516	
今期収入合計(A)	2,610,000	2,588,570	△21,430	
預かり金	0	24,000	24,000	14年度以降前受け会費他
前期繰り越し収支差額	536,768	536,768	0	
収入合計(B)	3,146,768	3,149,338	2,570	

II 支出の部				
1 事業費	2,805,248	1,809,469	△995,779	
(1) 普及啓発事業	640,000	433,443	△206,557	
アシンポジウム・講演会開催事業費	(35,000)	(33,333)	△1,667	講師謝礼
イ 公開勉強会開催事業	(30,000)	(0)	△30,000	講師謝礼・会場費
ウ 自然観察会開催事業	(60,000)	(52,952)	△7,048	講師・スタッフ謝礼・バス借り上げアジェンダの日出展料外
エ 啓発ブース出展費用	(15,000)	(11,000)	(△4,000)	
オ エコツアー	(500,000)	(336,158)	(△163,842)	バスツアー 3回計画 2回実施
(2) 刊行事業	1,158,248	285,703	△872,545	
ア 啓発誌発行事業 1	(900,000)	(0)	△900,000	神奈川の自然 67号未刊行
イ 啓発紙発行事業 2	(220,000)	(221,250)	1,250	ニュースレター 70号～74号
ウ ホームページの運営事業	(31,248)	64,453	33,205	過去未払含む
エ その他印刷物作成	(7,000)	0	△7,000	協会紹介パンフ等 未作成
(3) 他団体との協働・支援	172,000	104,795	△67,205	

ア 野生動植物保全フォーラム	(150,000)	(92,795)	△57,205	協力者謝礼・チラシ印刷他
イ 他団体会費	(22,000)	(12,000)	△10,000	丹沢大山再生委員会。丹沢ボラネット
(5) 研究費	65,000	116,840	51,840	
ア 自然環境調査費	(50,000)	(101,840)	(51,840)	ホットスポットワーク
イ 資料購入費	(15,000)	(15,000)	0	日本自然保護協会
2 管理費	267,000	367,886	100,886	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	40,000	127,034	87,034	償却費積立未了
(4) 消耗品費	50,000	52,702	2,702	事務用品・用紙
(4) 役務費	9,000	7,827	△1,173	コピー代・リソグラフィカード他
(5) 交通費	40,000	50,620	10,620	交通費・駐車料
(6) 通信費	30,000	17,300	△12,700	連絡郵送代・行事開催連絡他
(7) 会議費	94,000	109,070	△15,070	役員会会場費・弁当代
(8) 雑費・源泉所得税納入	4,000	3,333	△667	講師謝礼
3 予備費	3,502	0	△3,502	
4 事業積立	0	0	0	
5 未払い金	71,018	71,018	0	
当期支出合計(C)	3,146,768	2,248,373	△898,395	
当期収支差額(A)－(C)		340,197		
次期繰越収支差額(B)－(C)		900,965		内 前受け会費預かり分 24,000-

第2号議案 2014年度 事業計画案 及び 予算案

2014年度 事業計画 (案)

1 事業活動方針

本年度活動のテーマ「海」

啓発誌の発行や、講演会の開催、公開勉強会・観察会等の企画、自然調査活動を通して神奈川県の実地環境の特質を理解し、よりよい保全の在り方を追求する活動を行う。

推進に当たっては、地域開発計画への対応や生物多様性保全の啓発を意識したものとする。

活動は単独あるいは他団体との連携を通し話題性のある内容をめざし、活動の場をできるだけ県内各地に広げ広報活動も充実させるなど県民への知名度を高め、50周年となる次年度につなげられるようより効果的なものとなるよう努力する。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

県下で今日的課題となっている自然環境問題について、テーマを設定しその問題について造詣の深い有識者を講師とするシンポジウムや講演会を一般県民を対象に開催し、問題の啓発を図ると共に、解決への方策を探る。

- ・箱根の自然について、現状や将来の保全対策を考えるシンポジウム
- ・ドキュメンタリー映画「流(ながれ)」上映(総会后)

他 機会を捉えて随時

イ 公開勉強会開催事業

県内の自然保護を巡る問題、及び神奈川県民がかかえる自然保護に関する課題について、専門家や行政の担当者への講話を聞いたり討論したりする事を

通して、神奈川県土の自然保護及び神奈川県民の意識の向上に寄与する。また、この名称については一般に親しみやすいものとなるようその都度工夫する。

- ・自然保護の現場を見る 「湘南の海岸林」 9月
- ・磯の観察と海の問題 東京大学三崎臨海実験所 11月25日(火)

ウ 自然観察会

・県内

地形・地質観察会 2015年3月「金沢八景平潟湾の生い立ちを探る」(同一内容で2回実施)
自然観察指導員連絡会(グリーンタフ)との共同観察会 1回「城ヶ島の春」5月17日(土)
他随時

エ 県外視察

東日本大震災後の復旧復興計画に見る自然環境保全状況 7月3、4日(木・金)

オ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、野生動植物保全フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

- ・野生動植物保全フォーラム 11月下旬
- ・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー実施
- ・特定外来種対策 啓発活動及び市民向け自然観察会と除去作業
- ・休耕田を使った自然学習

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」67号

多くの県民に親しんでもらえるような楽しく、啓発的な内容とし、広くの県民への広報を目的とする。

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」

NPOとしての活動に関する広報

行事に関する広報／県内の自然保護の動きに関する

情報／神奈川県環境行政の動向に関する広報

など隔月を目標に発行する。

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実を努める。

エ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実を図り、機会を捉えて掲出する。

オ その他必要に応じて、協会紹介パンフレットづくりなど行う。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア 野生動植物保全フォーラム開催（再掲）

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。（厚木市との協働）

・日時 2014年11月下旬

・会場 厚木市文化会館

県内活動団体からの報告

ポスター展示及びポスターセッション

イ 磯の観察と海の問題（再掲）

東京大学三崎臨海実験所 11月25日（火）

ウ 専門家派遣事業

・内容 協会会員のうちで自然に関する各分野の専門家、必要とする団体等に対し指導・協力者として派遣・及び機材の貸し出しをする。

・場所 県内各地

エ その他 必要な活動

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト

県内の自然の状況について把握し評価する事業。第1次まとめと広報。

・他 自然全般

(5) 行政への働きかけ・協働

・ **神奈川県環境行政について、県民と担当部局の意見交換の場を設け、よりよい協働への機会を作る。**

・ 県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出。

(6) 50周年記念事業

2015年の50周年記念事業に向けて、事業内容検討および実施へ向けた準備活動を行う。

事業に備えて事業積立金を積み増しする。

3 事務局体制

資料印刷・現金出納・行事实施など協力者募集 理事も事情が許す限り、運営メンバーとして運営委員会に参加し実行体制の強化にかかわる。

4 会議の開催

総会 6月14日 13:00 神奈川県立歴史博物館講堂

理事会 年4回

運営委員会 （各月第二火曜日、1月のみ第三火曜日 18:30～）

会場：かながわ県民センター会議室 誰でも傍聴自由

2014年度 計画

月	日	曜	種別				内 容	事業内容 関連項目
			運営	室内	野外	発信		
4	8	火	○				理事会 運営連絡委員会 710 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会 ニュースレター発行予定	(2)
	9	水	○					
5	13	火	○				運営連絡会 705 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会 自然観察会「城ヶ島の春」(グリーンタフ連携) 厚木市民対象 「川のめぐみ」エコツアー <実施日変更検討中>	(1)ウ (1)オ
	14	水	○					
	17	土			○			
	18	日			○			
6	10	火	○				運営連絡会 705 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会 総会・映画会 「神奈川県環境政策 意見交換会」 ニュースレター発行予定	(1)ア (5) (2)
	11	水	○					
	14	土	○	○				
	未定			○				
7	3-4	木			○		県外視察 東北 理事会 運営連絡委員会 705 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会	(1)I
	8	火	○					
	9	水	○					
8	5	火			○		「川のめぐみ」エコツアー 厚木市 運営連絡会 705 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会 ニュースレター発行予定	(1)オ (2)
	12	火	○					
	13	水	○					
9	9	火	○				運営連絡会 705 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会 海岸林の学習 湘南海岸の松林観察と講話 未定	(1)I
	10	水	○					
	未定			○	○			
10	14	火	○				理事会 運営連絡委員会 710 18:30～ 野生動植物保全フォーラム運営委員会	
	15	水	○					

					○	ニュースレター発行予定	(2)
11	11:火	○				運営連絡会 18:30～	
12	12:水	○				野生動植物保全フォーラム運営委員会	
25	25:火		○	○		海の学習 磯の観察と講話 三崎臨海実験所	(1)1(3)1
12	10:火	○				運営連絡会 18:30～	
11	11:水	○				野生動植物保全フォーラム運営委員会	
21	21:日		○		○	野生動植物保全フォーラム (さがみ自然フォーラム)	(1)1(3)1
						ニュースレター発行予定	(2)
1	13:火	○				理事会 運営連絡委員会 18:30～	
14	14:水	○				野生動植物保全フォーラム運営委員会	
未定	未定		○			シンポジウム「箱根の自然」	(1)1
2	10:火	○				運営連絡会 18:30～	
11	11:水	○			○	野生動植物保全フォーラム運営委員会	
						ニュースレター発行予定	(2)
3	10:火	○				運営連絡会 18:30～	
11	11:水	○				野生動植物保全フォーラム運営委員会	
未定	未定		○		○	地形地質観察会「金沢八景平湯湾の生い立ちを探る」	(1)1
						「かながわの自然」発行予定	(2)
		25	6	7	7	他に ・ホットスポット W ・「かながわの自然」編集会議 ・50周年実行委員会 など	

2014年度予算(案)

科 目	金 額 (円)			備 考
	前年度実績	本年度予算	比較(△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	606,000	640,000	34,000	過年度分未納入分請求強化
2 (1) 自然保護に関する普及啓発事業	145,586	150,000	4,414	
ア 自然観察会開催事業	(145,586)	(150,000)	(4,414)	参加費(交通費の他1名1,000円)
(2) 受託費・補助金	1,527,500	450,000	△1,077,500	
ア 受託金	(945,000)	(450,000)	(495,000)	厚木市 生物多様性戦略事業費
イ 補助金	(582,500)	(0)	(582,500)	
3 寄付金	76,000	100,000	24,000	一般寄附及び書籍譲渡見返
4 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	3,484	4,000	516	
当期収入合計(A)	2,588,570	1,574,000	△1,014,570	
預かり金(前受け会費)	24,000	0	△24,000	
前期繰り越し収支差額	536,768	900,965	364,197	
収入合計(B)	3,149,338	2,474,965	△674,373	

II 支出の部				
1 事業費	1,809,469	1,609,000	△200,469	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	433,443	365,000	△68,443	
ア シンポジウム・講演会開催事業費	(33,333)	(20,000)	(△13,333)	講師謝礼他経費
イ 公開勉強会開催事業	(0)	(30,000)	(30,000)	講師謝礼他経費
ウ 自然観察会開催事業	(52,952)	(50,000)	(△2,952)	講師謝礼他経費
エ 啓発ブース出展費	(11,000)	(15,000)	(4,000)	アジェンダの日出展料外
オ エコツアー実施事業	(336,158)	(150,000)	(△186,158)	厚木市事業
(新)カ 休耕田活用環境学習		(100,000)	(100,000)	厚木市事業
(2) 保全事業	868,688	100,000	△768,688	
ア ビオトープ作製事業	(868,688)	(100,000)	(△768,688)	厚木市妻田小学校
イ その他事業	(0)	(0)	(0)	
(3) 刊行事業	285,703	887,000	601,297	
ア 啓発誌発行事業 1	(0)	(600,000)	(600,000)	かながわの自然 67号
イ 啓発紙発行事業 2	(221,250)	(220,000)	(△1,250)	ニュースレター
ウ ホームページの運営事業	(64,453)	(60,000)	(△4,453)	13年度未払い
エ その他印刷物作成事業	(0)	(7,000)	7,000	パンフレット・ポスターなど
(4) 他団体との協働・支援	104,795	122,000	17,205	
ア 野生動植物保全フォーラム	(92,795)	(100,000)	(7,205)	運営費 当日資料 講師謝礼他
イ 他団体協賛金	(12,000)	(22,000)	(10,000)	丹沢大山自然再生委員会 丹沢ボラネット 湘南緑
(5) 研究調査費	116,840	135,000	18,160	生物多様性ホットスポットプロジェクト他
2 管理費	367,886	326,000	△41,886	
役員報酬	0	0	0	無償
事務局人件費	0	0	0	無償

備品費	127,034	100,000	△27,034	備品償却費
消耗品費	52,702	50,000	△2,702	事務用品・会議資料用紙代
役務費	7,827	8,000	173	コピー 宅配便送料等
交通費	50,620	50,000	△620	旅費・駐車料
通信費	17,300	20,000	2,700	連絡郵送代・行事開催連絡他
会議費	109,070	94,000	△15,070	役員会会場費・弁当代
雑費・源泉所得税支払い	3,333	4,000	667	
3 事業積立金	0	500,000	500,000	50周年事業向
4 昨年度分未払い金	71,018	0	△71,018	HP管理費11.12年度
5 予備費	0	39,965	39,965	
当期支出合計(C)	3,149,338	2,474,965	△674,373	

神奈川の自然 在庫 302 冊 別途50周年事業積み立て¥ 2,215,000-(¥2,715,000)

備品償却積み立て¥ 450,000-(¥545,000-) ()内は本年度予算執行後の金額

神奈川県内自然保護ニュース

(このページに掲載する情報をお寄せください。)

横浜上郷地区開発(瀬上沢開発問題)経過

神奈川県自然保護協会は瀬上沢開発に関して、神奈川県東部、特に横浜市内の貴重な緑であることから、「ホテルのふるさと瀬上沢基金」「瀬上の森パートナーシップ(SMP)」などの運動に賛同し、特に「ホテルのふるさと瀬上基金」では本会理事長が会の顧問を務めています。

最近の動きを報告します。

1月25日に、開発事業者である東急建設は、都市計画法に基づく都市計画の決定及び変更の提案を横浜市に対して行いました。

概要は下表のとおりです。(横浜市記者発表資料より) 都市計画提案の概要等

提案された都市計画の内容	
位置	栄区上郷町地内
面積	約31.9ha
提案日	平成26年1月17日(金)
提案者	東急建設株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 区域区分の変更;市街化調整区域 → 市街化区域 約12.5ha 用途地域の変更;無指定 → 第一種低層住居専用地域 (60/40) 約 3.1 ha 第一種低層住居専用地域 (80/50) 約 5.5 ha 準住居地域 (200/60) 約 3.9 ha 高度地区の変更;無指定 → 最高限第1種高度地区 約 8.6 ha 最高限第4種高度地区 約 3.9 ha 防火地域及び準防火地域の変更;無指定 → 準防火地域 約 3.9 ha 緑化地域の変更;無指定 → 緑化地域 約 12.5 ha 地区計画の決定;約 12.5ha 特別緑地保全地区の決定;約 11.2ha 公園の変更;約 7.9ha(追加) 	

これに対して、瀬上基金では

- 緑地の市街化は法令に不適合

瀬上沢に隣接する栄区・港南区は人口減少に転じており、産業や鉄道計画もない。市街化区域には空地・空き家が目立ち、貴重な緑地を削って新たな市街地を作る計画は法的に無理がある。

- コンパクトシティー構想と不整合



港南台駅から直線で1kmの瀬上沢に、新たにコンパクトな市街地をつくるこの計画は、人口減少に対応し市街地の拡散を抑制し、駅から徒歩1km圏内に集約型都市構造のコンパクトな市街地形成を目指す構想とは合わない。

- 横浜市のみどりアップ計画、bプランと不整合

「みどりアップ計画」で“農地を守る・樹林地を守る

- ・緑を増やす”施策を実施中。上郷開発では、樹林地を削り、農地を埋立て、連続する三浦丘陵の北端を12haも破壊する。

「ヨコハマbプラン」では、瀬上沢を含む円海山周辺を“つながりの森”として保全しようとしている。

- ・インフラの拡大は若者の税負担を増す
開発の又とない機会であるといつて、市街地を拡大する東急提案は、市街地拡大の抑制、縮退を目標とする、横浜市都市計画マスタープランの基本理念に逆行している。人口減少に伴い、道路や下水などのインフラも減らしていかなければ、次世代を担う若者の税負担は増える。
- ・開発で緑地が7割増える??

提案書には本計画地は、約9割が山林及び農地であり保全が担保されていない。計画により、法指定による緑地等として担保される土地が約7割に増えると表現をしている。法指定が増えるのであって、実際の緑地は3割失われ、市街化調整区域は4割減少する。

などの問題点を指摘している。

東急建設から提案された都市計画は今後次のような手順で検討が進む。

■参考図：都市計画提案後の流れ



5月20日に公聴会が開催されることが決まっている。

開発地域の住人の中には、開発によって利益がある人も
いるわけで、神奈川新聞に寄れば異例とも言える公述申出
があったと言うことだ。

横浜・上郷地区開発提案公聴会、

公述申し出に2500通 2014.05.03【神奈川新聞】

一方、「瀬上基金」では4月14日横浜市宛
「谷戸埋め立ての危険性に関する陳情」

「都市計画区域の整備保への適合性に関する陳情」

「近郊商業施設の衰退助長に関する陳情」

を行ったが具体的な内容の回答はなかった。

以上「ホタルのふるさと瀬上基金」資料による。

参照 <http://www.segamikikin.org/index.html>

HP上で署名も募集しています。

~~~~~  
**神奈川県自然保護協会からのお知らせ**  
~~~~~

神奈川県自然保護協会 設立の頃 Ⅱ

もうすぐ50周年

No. 74 で設立の頃として経過のこと
を書きました。創立を記念して当時の
駿河銀行頭取、岡野喜一郎氏が神奈川
県民に向けて団伊玖磨さんに依頼して
作った交響曲「1965神奈川」の披
露をして下さいました。当時のレコー
ドがあるという話はあるのですが、確
認できません。

最近当時の音源がスルガ銀行に保存
されていることが分かりました。
事務局ではこの音源を特別にダビング
したものを頂くことができました。

◇ ◇

設立の頃の続きです。

当時、「自然を守ろう」という機運
は多くの人々の共感を呼びました。その
ことは神奈川県自然保護協会の設立時
の役員名簿を見ると良く分かります。
＝神奈川県自然保護協会役員名簿＝
(敬称略)

名誉会長 内山岩太郎 県知事
会長 李家 孝

県商工会議所連合会々頭
横浜商工会議所会頭

副会長

酒井 恒 横浜国大教授

県文化財専門委員

原 義夫 県商工会議所連合専務理事

加藤文八 県教育庁指導部長

常任理事 (アイウエオ順)

足立原茂徳 県教育庁社会教育課長

天野 久弥 鎌倉風致保存連盟

加藤 直 県教育庁指導主事

菊也 武次 県観光協会事務局長

斉藤 実 横浜国大助教授

柴田 敏隆 三浦半島自然保護の会

末広 令三 県立高校長会々長

菅原 寿雄 県社会教育委員

諏訪 哲夫 北相自然保護の会

園田 敬男 県文化財協会副会長

県文化財専門委員

武田 英治 県企画課長

中野 誠一 県教育庁社会教育主事

中村 芳男 丹沢自然保護の会

原 実 鎌倉の自然をまもる会

樋口 芳夫 県計画課長

星野 直隆 県博物館協会事務局長

堀江 重次 県文化財専門委員

松浦 正郎 箱根博物会

見上 敬三 県文化財専門委員

宮脇 昭 //

理事 各団体から1名(自然保
護関係団体 関係機関)

監 事

永海 秋三 横浜国大教授

大島栄之助 県観光課長

山田 芳美 県教育庁社会教育課課長

事務代理

参 与 (アイウエオ順)

生田 雍郎 県林務課長

落合 涉 県学事宗教課長

小島 登一 県津久井教育事務所長

佐伯 進 県企業庁管理課長

佐野 正夫 県企業庁調査課長

清水 保 県河港課長

下村 肇 県道路建設課長

杉崎 喜一 県足柄上教育事務所長

田辺 利徳 県中教育事務所長

永井 三夫 県水産課長

中村 次雄 県農地調整課長

中村 操 県足柄下教育事務所長

林 繁 県青少年育成課長

丸山 一雄 県高座三浦教育事務所長

森 宣明 県住宅企画課長

吉川 久蔵 県企業庁開発課長

吉浜 重治 県々民課長

脇坂 光雄 県青少年企画課長

渡辺 一雄 県愛甲教育事務所長

顧問 (アイウエオ順)

秋永 規輔 県土木課長

伊原 隆 社団法人横浜銀行協会会長

小佐野皆吉 県商工会議所連合会

副会頭

大佛 次郎 作家

兼子 一良 県商工会議所連合会

副会頭

木原 均 遺伝学研究所長

桑名 精二 県農政部長

小宮 賢一 県建築部長

佐々井典比古 県総務部長

白根 雄偉 県企画調査部長

菅井栄一郎 県教育長

鈴木 重信 県理事県教育センター

参与

田村 剛 日本自然保護協会理事長

津田 文吾 県副知事

中村 周二 県商工部長

根本 茂 県商工会議所連合会

副会頭

羽根田彌太 横須賀市立博物館長

藤田 経世 県文化財協会々長

峯尾 才次 県青少年総合対策本部

事務局長

三上 次男 県文化財専門委員会議長

村日 良策 県博物館協会々長

森久保虎吉 県企業庁長

山階 芳磨 日本鳥類保護連盟会長

久々に県外視察

7月3日(木) 4日(金)

防潮堤に揺れる海岸の自然の状況。保全措置はどうなっ
ているのでしょうか。次号にお知らせが間に合いません。関
心のある方ご連絡下さい。

~~~~~  
**ニューズレター 76号**

特定非営利活動法人

**神奈川県自然保護協会**

<http://www.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (セコキョウ)店 当座 0112653

2014年 5月 15日発行

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org